

スライドソー

型式 KM-101

取扱説明書

このたびは、松井電動工具シリーズ『スライドソー』をお買い上げ賜り、誠にありがとうございます。

・この取扱説明書は、機械の使い方だけでなく、安全上の重要な事柄が書かれています。

機械を使用される前に、必ずこの取扱説明書をお読み頂き、書かれている事を完全にご理解されるまでは、絶対に機械を作動させないで下さい。

・この取扱説明書は、機械を使用される方がいつでもご覧になれる所に保管して下さい。

・本機は鎧張り(下見板)の棧の加工を行うものとして作られた製品です。

これらの使用目的以外には、絶対ご使用にならないで下さい。



株式
会社

松井鉄工所

仕様

型式 KM-101

電動機械 直巻整流子電動機

電圧 単相100V

消費電力 1140W

回転数 4100min⁻¹

刃物寸法 $\phi 216 \times 3.2t \times 25.4mm$

3分刃: $\phi 216 \times 3.2t \times 25.4mm$ 50P

5分刃: $\phi 216 \times 3.2t \times 25.4mm$ 30P

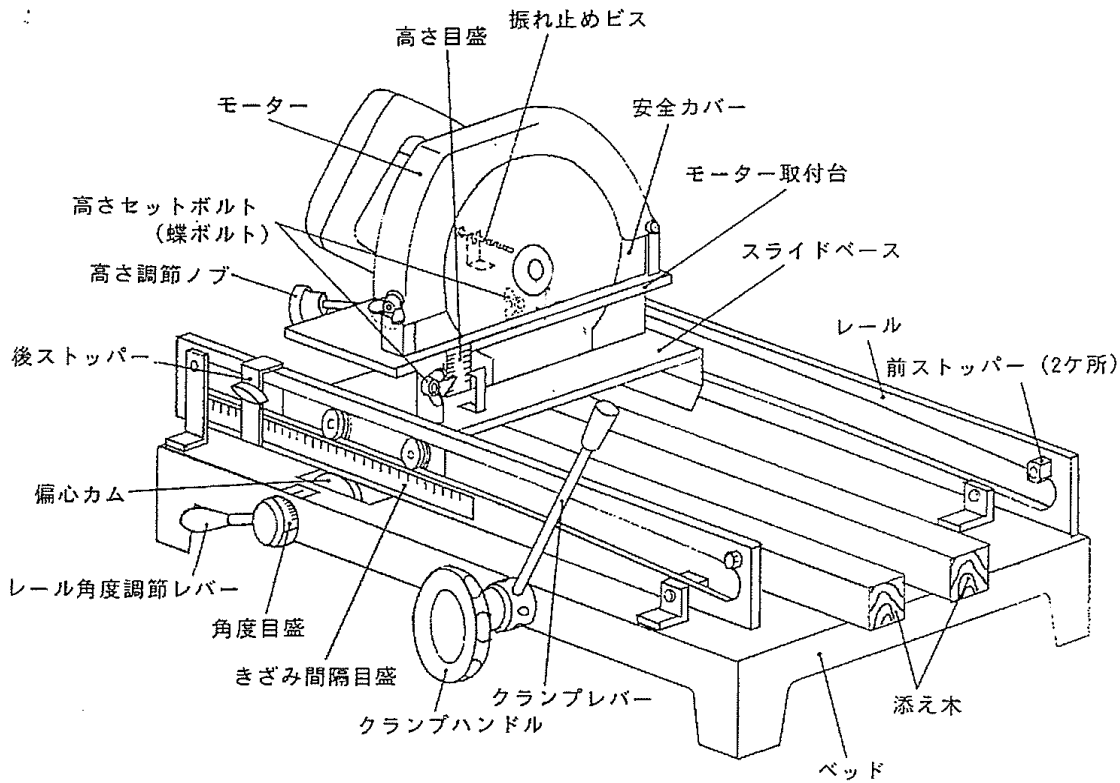
重量 27kg

外形寸法 540mm(L) \times 420mm(W) \times 375mm(H)

付属品

ボックスレンチ 1個

『スライドソー』各部の名称



安全上のご注意

- ・ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、完全にご理解頂くまでは、機械を作動させないで下さい。
- ・この取扱説明書に記した注意事項は『警告』『注意』に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容を記していますので必ずお守り下さい。
- ・この取扱説明書は機械を使用される方が、いつでもご覧になれる所に保管して下さい。
- ・本機を絶対に改造しないで下さい。

『警告』『注意』の意味について

| | |
|----|--|
| 警告 | 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されること。 |
|----|--|

| | |
|----|---|
| 注意 | 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性及び物的損害が想定されること。 |
|----|---|

注意に記載した事項でも状況によっては、重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守って下さい。

電動工具使用上のご注意

- ・火災・感電・けがなどの事故を未然に防ぐために、一般的な注意事項として次に述べる「電動工具使用上のご注意」をお読みの上、指示に従って正しく使用して下さい。

| 警告 | |
|----|--|
| 1. | 作業場は、いつもきれいに保って下さい。 <ul style="list-style-type: none">・ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。 |
| 2. | 作業場の周囲状況も考慮して下さい。 <ul style="list-style-type: none">・電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、濡れた場所で使用しないで下さい。・作業場は十分に明るくして下さい。・可燃性の液体やガスのある所で使用しないで下さい。 |

警告

3. 感電に注意して下さい。
 - ・電動工具を使用中、体をアースされているものに接触させないようにして下さい。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子どもを近づけないで下さい。
 - ・作業員以外、電動工具やコードに触れさせないで下さい。
 - ・作業員以外、作業場へ近づけないで下さい。
5. 使用しない場合は、きちんと保管して下さい。
 - ・乾燥した場所で、子どもの手の届かない高い所または錠の掛かる所に保管して下さい。
6. 無理して使用しないで下さい。
 - ・安全に効率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業して下さい。
7. 作業に合った電動工具を使用して下さい。
 - ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないで下さい。
 - ・指定された用途以外に使用しないで下さい。
8. きちんとした服装で作業して下さい。
 - ・だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので、着用しないで下さい。
 - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・長い髪は、防止やヘアカバー等で覆って下さい。
9. 保護めがねを使用して下さい。
 - ・作業時は、保護めがねを使用して下さい。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用して下さい。
10. コードを乱暴に扱わないで下さい。
 - ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないで下さい。
 - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないで下さい。
11. 加工する物をしっかりと固定して下さい。
 - ・加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用して下さい。
手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用出来ます。
12. 無理な姿勢で作業をしないで下さい。
 - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにして下さい。

警告

13. 電動工具は、注意深く手入れをして下さい。
 - ・安全に効率よく作業して頂く為に、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保って下さい。
 - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従って下さい。
 - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼して下さい。
 - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し損傷している場合には交換して下さい。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにして下さい。
14. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いて下さい。
 - ・使用しない、または、修理する場合。
 - ・刃物、といし、ビット等の付属品を交換する場合。
 - ・その他危険が予想される場合。
15. 調節キーやレンチ等は、必ず取り外して下さい。
 - ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取り外してあることを確認して下さい。
16. 不意な始動は避けて下さい。
 - ・電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないで下さい。
 - ・プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れている事を確かめて下さい。
17. 屋外使用に合った延長コードを使用して下さい。
 - ・屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用して下さい。
18. 油断しないで十分注意して作業を行って下さい。
 - ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業して下さい。
 - ・常識を働かせて下さい。
 - ・疲れている場合は、使用しないで下さい。
19. 損傷した部品がないか点検して下さい。
 - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷が無いか十分点検し、清浄に作動するか、また所定機能を発揮するか確認して下さい。
 - ・可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認して下さい。
 - ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱い説明書の指示に従って下さい。
 - ・取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼して下さい。

スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店で修理を行って下さい。

- ・スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないで下さい。

20. 指定の付属品やアタッチメントを使用して下さい。

- ・本取扱説明書およびカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないで下さい。

21. 電動工具の修理は、専門店で依頼して下さい。

- ・修理は、必ずお買い求めの販売店にお申し付け下さい。

修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故や怪我の原因となります。

スライドソーゴ使用前の注意

1. 作業場所に関するご注意

| | |
|----|---|
| 警告 | <ul style="list-style-type: none">・雨の中、濡れた場所では仕様しないで下さい。・モーターの電気絶縁性を弱め、感電事故の恐れがあります。・使用する時は、作業場所周辺に人を近づけないで下さい。・切りくずが飛び散り、思わぬ怪我の恐れがあります。 |
|----|---|

- ・使用する場所は水平な所で常に安定した状態で使用できる場所を選んで下さい。
- ・使用する場所の周辺は、必ず予め整理整頓し、高速で回転する刃物に巻き込まれやすいボロ布や紐などは絶対に置かないで下さい。

2. 作業者ご自身に関するご注意

| | |
|----|---|
| 警告 | <ul style="list-style-type: none">・疲労時や体調の思わしくない時は使用しないで下さい。・とっさの判断が出来ず、思わぬ怪我の恐れがあります。 |
|----|---|

- ・必ず保護メガネを着用して作業して下さい。
- ・体にあった適切な作業衣を着用し、アクセサリ等の装身具は着用しないで下さい。

3. 使用目的

| | |
|----|--|
| 警告 | <ul style="list-style-type: none">・指定した使用目的以外には絶対に使用しないで下さい。・大事故につながり、怪我の恐れがあります。 |
|----|--|

- ・本機は鎧張り(下見板)の棧の加工を行うものとして作られたものです。

4. 使用前の準備

- ・梱包箱より、製品を傷つけないよう取り出して下さい。

| | |
|----|---|
| 注意 | <ul style="list-style-type: none">・本機は重量が27kgある為、移動させるときは2人で運んで下さい。・思わぬ事故の恐れがあります。 |
|----|---|

- ・製品の輸送中に各部のネジが緩んだりしている可能性がありますので、緩み、はずれ等がないか調べて下さい。
- ・スイッチが確実に切れているかどうか確認して下さい。
- ・レールの端に付いている、運搬用固定具(タイラップ)を外して下さい。
- ・クランプレバーがスライドベースの移動止めを兼ねていますので抜いて下さい。

【注記】クランプレバーは本体を移動させる時、モーターを固定する必要がありますので、紛失しないように保管して下さい。

5. 刃物の点検

| | |
|----|---|
| 警告 | ・ご使用前には必ず刃物取付ボルトが緩んでいないかを確認して下さい。 緩んでいると刃物が飛び怪我の恐れがあります。 |
|----|---|

| | |
|----|---|
| 注意 | ・刃物を手で扱う時は必ず手袋を着用して作業して下さい。 刃が手に触れて怪我の恐れがあります。 |
|----|---|

・刃物がモーター刃物刃物取付部に固定されているか確認して下さい。

6. 加工材の点検

| | |
|----|--|
| 警告 | ・加工材の切削面から釘などの金属片や砂、小石などの異物が無いように 完全に取り除いて下さい。 切削面に異物があると、刃物に変形して使用不能となる恐れがあります。 |
|----|--|

使用方法

1. 電源の接続

警告

・必ず接地(アース)して下さい。

故障や漏電の時に感電の恐れがあります。

接地は、プラグの横から出ているアースクリップをアース線に接続して下さい。

アースクリップやアース線に異常がないか確認して下さい。

テスターや絶縁抵抗計をお持ちでしたら、アースクリップと機械本体の

金属部(外部)間の導通を確認して下さい。

アース棒やアース板を地中に埋め込み、アース線を接続するような電気工事は、電気工事士の資格が必要ですので、最寄の電気工事店に相談して下さい。

接地と共に感電防止用漏電遮断機の設置された電源に

接続されますの事をおすすめします。

労働安全衛生規則 第333条・第334条

電気設備の技術基準 第18条・第28条・第41条

・アース線をガス管に接続しないで下さい。

爆発の恐れがあります。

・つなぎコードを使用する時は、アース線を備えた3芯コードを使用して下さい。

アース線のない2芯コードですと、感電の原因になります。

・使用電源は、銘盤に表示してある電圧で使用して下さい。

表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、怪我の原因になります。

・濡れた手で原電プラグに触らないで下さい。

感電事故の恐れがあります。

・始動スイッチが切れている事を確認して下さい。

・電源スイッチが傷んでいたり、電源プラグが変形していないか確認して下さい。

・以上の事を確認した後、電源プラグをコンセントに差し込んで下さい。

【注記】電源が離れていて中継コードが必要なときは、機械を最高の効率で故障無く

ご使用頂く為に十分な太さのコードを出来るだけ短くお使い下さい。

| コードの太さ(導体公称断面積) | コードの最大長さ |
|----------------------|----------|
| 1. 25mm ² | 10m |
| 2. 00mm ² | 15m |

使用出来るコードの太さ(公称断面積)と最大長さの関係

2. スイッチの接続

| | |
|----|--|
| 警告 | <ul style="list-style-type: none">・刃物が加工材などに当たっていないか確認して下さい。物が当たった状態でスイッチを入れ機械を作動させますと 反発で機械がはねあがり怪我の恐れがあります。 |
|----|--|

- ・本機はスイッチを始動の方向に引くとモーターが回転し、刃物が回転する仕組みになっています。また、スイッチをもとの状態にもどしますと、モーターの回転が止まります。

作業中のご注意

- 警告
- ・刃物回転中は絶対に回転物に手や顔を近づけないで下さい。
思わぬ事故の恐れがあります。
 - ・作業中は作業場所周辺に人を近づけないで下さい。
特にお子様は注意して下さい。
切りくずが飛び思わぬ怪我の恐れがあります。
 - ・切りくずがレースにつまった場合はスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、回転が止まってから木の棒等をかき出して下さい。
思わぬ事故の恐れがあります。
 - ・運転中に機械の調子が悪くなったり異常を感じた時は、直ちにスイッチを切り電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店に連絡して下さい。
そのまま使用していると怪我の恐れがあります。
 - ・作業中は常に作業に集中して下さい。
 - ・作業中は機械に衝撃をあたえないで下さい。

作業手順

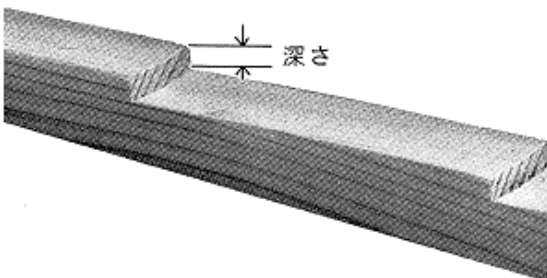
1. 加工材寸法を決める

- ①加工材の寸法を計測する。



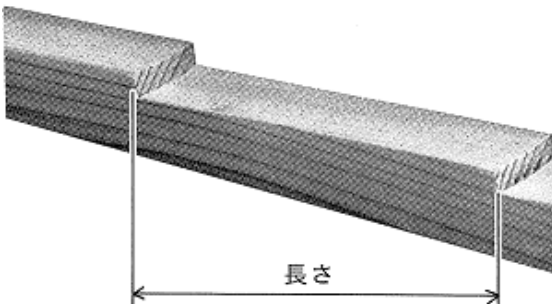
例) 1寸角(30mm)

- ②使用する板材の厚さを計測し、削り込み深さを決める。



例) 3分(9mm)

- ③加工材のキザミ長さを決定する。



例) 6寸(182mm)

2. 添木をセットする。

- ①添木を2本用意する。(加工材と同寸法のもの)

- ②加工材を中央に、両サイドに添木を置き、クランプハンドルで締め付ける。

(これにより両サイドの添木はバイスに固定される)

- ③クランプハンドルを緩め、加工材を外す。

(注)添木の直角度が重要です。直角でない場合、中心がずれる原因となります。

- ④最初の加工では添木と加工する材料の3本を一度に加工する事になります。

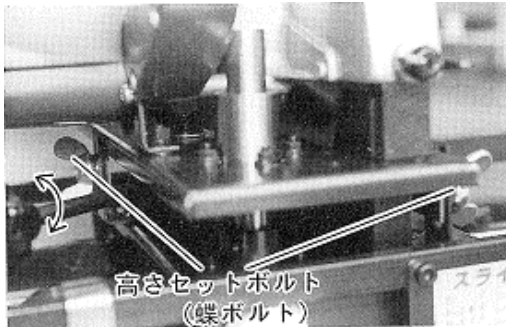
2回目からは、その添木を使用して加工します。

3. 高さ目盛りをセットする。(深さの調整)



高さの目盛りを1-①の項で決定した加工材の高さ(1寸)に合わせる。

高さセットボルト(チョウボルト)を2ヶ所緩め、
高さ調整ノブを回しモーターを上下させる。



【注記】高さセットボルト(2ヶ所)を必ず緩め、上下させて下さい。

締めたままで行くとトラブルの原因になります。

本機は、加工材の高さ(例 1寸=30mm)を高さ目盛りにセットすると、削り込み深さは
2分3厘(7mm)となるよう設計されています。

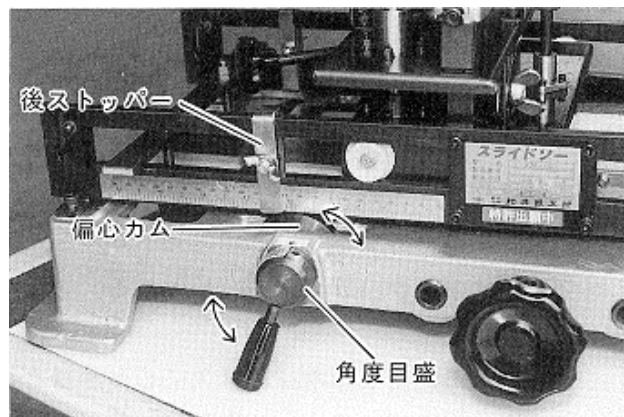
9mmの板を施工されたい場合は試削り後、深くしたい寸法(2mm)だけ
モーターを下げて下さい。

例) 高さ30mmの材料に3分板(9mm)を施工したい場合は、
目盛りを材料の寸法と同じ高さ(30mm)に合わせた時に加工出来る深さが
7mmとなります。加工深さを9mmにする場合は、モーターを2mm下げて、
目盛りを28mmの位置に合わせて加工すると9mmの加工となります。

【注記】材料幅が1寸より大きくなるときは、その分削り深さが浅くなりますので、
高さ調整ノブを回し、モーターを下げて下さい。

4. 角度目盛りをセットする。

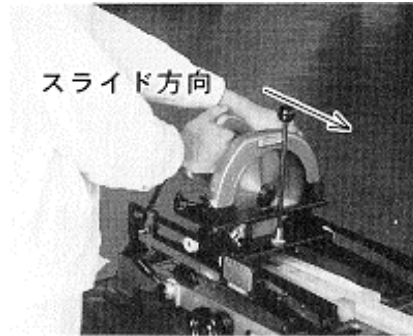
加工材の削り始め位置を決める
角度目盛りの反対側にある蝶ナットを
緩め、レール角度調整レバーを
いっぱいまで上げて下さい。



| | |
|----|--|
| 警告 | <ul style="list-style-type: none"> ・確認の際にスイッチに指をかけた時、刃物に手や顔を近づけないで下さい。 刃物が回りだし、怪我の恐れがあります。 |
|----|--|

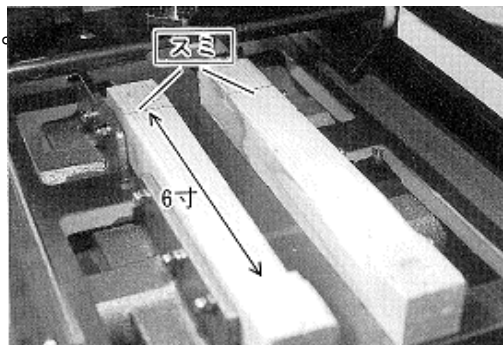
* 各部セットした後は、必ず蝶ナットを締めつけて下さい。

5. モーターのスイッチを入れ、前ストッパーにスライドベースが当たるまで、送ります。
 図のように、扱い側(クランプハンドル側)から見て左から右にスライドさせて加工します。
 加工する時は、モーターは両手で決められたスイッチハンドルと握りを持ち、作業して下さい。



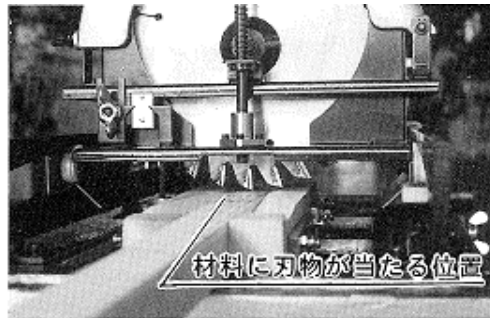
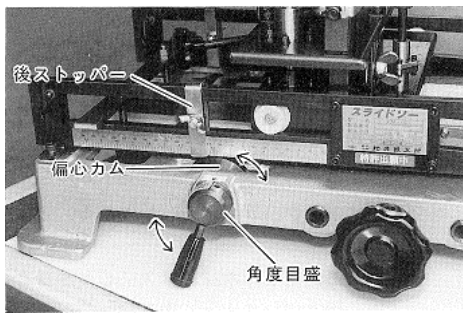
【注記】レールと車輪の間に隙間を設けてあり、丸ノコ本体が移動する方向にガタつきますので、加工時丸ノコを送る時は、常に丸ノコの重心を右か左に決めて移動して下さい。
 重心を右か左に決めないとキザミ長さが狂う原因となります。

6. スイッチを切り、モーターの回転を止めてから、加工材料の切り込み部分の深さが、3分(9mm)になっているかチェックして下さい。
7. 切り込み部分から、施工したい板幅寸法(例:6寸=182mm)を測り添木にスミ入れをして下さい。

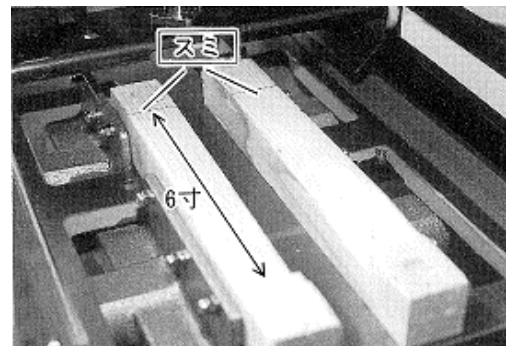


8. レール角度調整レバーの裏側にある、蝶ナットを緩め、

添木のスミに、刃先が当たる位置まで、レール角度調整レバーを下げてください。



9. モーターのスイッチを入れ、前ストッパーにスライドベースが当たるまで送ります。図のようにスミの位置から、加工したい寸法(6寸=182mm)が削れている事を確認して下さい。



〈1ヶ所のキザミ加工が完成〉

10. スwitchを切り、モーターの回転を止め、モーターを扱い側(クランプハンドル)から見て左側の位置において下さい。クランプハンドルを緩め、加工材を右から左へ送って下さい。

11. 加工した端面を添木のスミに合わせクランプハンドルを締めつけて下さい。

| | |
|----|--|
| 警告 | ・加工材と添木はバイスにしっかりと固定して下さい。 緩んでいますと、加工材が飛び怪我の恐れがあります。 |
|----|--|

12. モーターのスイッチを入れ、前ストッパーにスライドベースが当たるまで送って下さい。

13. 10~12の繰り返しで、何ヶ所も同じ加工が出来ます。

加工中心位置の調整

出荷時は、加工材料の一番深い位置が材料の中心になるようにセットされております。

使用されている中で、中心位置がずれる場合は、下記の項目を確認して下さい。

① 添木と加工材の直角度を確認して下さい。

添木と加工材の直角度が出ていないと中心がずれる事があります。

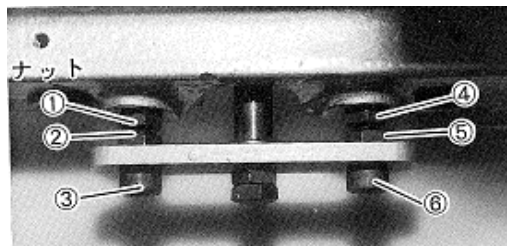
② 直角度を確認しても中心がずれる場合は、下記の方法で調整できます。

◆ ナット1. 2. 4. 5を緩め、ボルト3. 6を

右に回すと奥に移動します。

移動量は、ボルト1回転で約1.6mmです。

ボルト3. 6を左に回すと手前に移動します。



【注記】ボルト3. 6は必ず同じ量だけ回して下さい。

最後にナット1. 2. 4. 5を締めつけて下さい。

使用後の手入れ・保管

1. 電源を切る。

・ご使用後は必ず電源プラグを抜いて下さい。

警告

・濡れた手で電源プラグを触らないで下さい。
感電事故の原因となります。

2. 機械の手入れ

・ご使用後は、機械を清掃し切りくずを落として下さい。

・いつでもきれいな状態で使用出来るように普段からこまめに手入れして下さい。

3. 保管場所

・乾燥した場所で、子どもの手の届かない高い場所、又は鍵のかかる所に保管して下さい。

刃物の取付・取り外し

| | |
|----|--|
| 警告 | <ul style="list-style-type: none">・刃物は当社指定の刃物以外は取付けないで下さい。・刃物の交換作業をする時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。 思わぬ事故の恐れがあります。・刃物にヒビ割れなどの異常がない事を確認してから取付けて下さい。 刃物が破損し思わぬ怪我の恐れがあります。 |
|----|--|

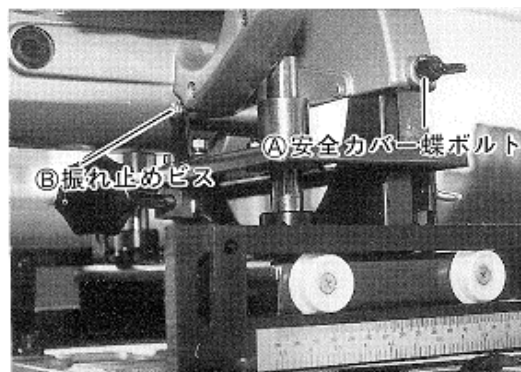
| | |
|----|---|
| 注意 | <ul style="list-style-type: none">・刃物を取り扱う時は、必ず手袋をつけて行って下さい。 刃物に触れて怪我の恐れがあります。・刃物の交換作業をする時は、モーターをいっぱい上に上げた状態にしてください。 刃物が安全カバーに干渉し破損の原因になります。 |
|----|---|

1. 高さ調整ノブを回し、モーターをいっぱい上に上げて下さい。

※モーターが上がっていないと、刃物が安全カバーに干渉し、破損の原因になります。

2. モーターの安全カバーを開く

クランプハンドル側にあるチョウボルトAと
高さ調整ノブ側にある触れ止めビスBを緩め、
刃物を180度完全に開いて下さい。



3. 刃物を外す

付属の工具で市販の電気丸ノコの刃物と同じ要領で外して下さい。

4. 刃物の再研磨後

刃物を取り付け、手で軽く回し芯ブレしない事を確認して下さい。

5. 安全カバーのチョウボルトと振れ止めビスを締めるときインローにしっかり

入っている事を確認して締めて下さい。

保守・点検について

| | |
|----|--|
| 警告 | <ul style="list-style-type: none">・点検・整備の際は必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。 感電や事故の原因となります。・修理は必ずお買い求めの販売店に依頼して下さい。 修理の知識や技術のない方が修理しますと、故障の原因となり、 怪我の恐れがあります。・メーカーの許可なき機械の改造は行わないで下さい。 思わぬ事故の恐れがあります。 |
|----|--|

1. カーボンブラシの点検・交換

- ・カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、火花が多くなりモーターの故障の原因となりますので、カーボンブラシの長さが6mmくらいになりましたら、
左右同時に新品と交換して下さい。この時、カーボンブラシがブラシホルダー内で
前後にスムーズに動くか確認して下さい。
新品と交換する際は、当社指定のカーボンブラシをご使用下さい。

カーボンブラシ:マキタ CB-154

—MEMO—



株式
合社

松井鉄工所

MATSUI IRON WORKS CO.,LTD.

本社・工場 〒516-0005 三重県伊勢市竹ヶ鼻町70番地

TEL : (0596) 36-3346 FAX : (0596) 36-3598